

# 予算のあらまし

～コロナ対策に全力で取り組む～

一般会計	162億円
特別会計	82億円
企業会計	21億円
<b>合計</b>	<b>265億円</b>

## 一般会計

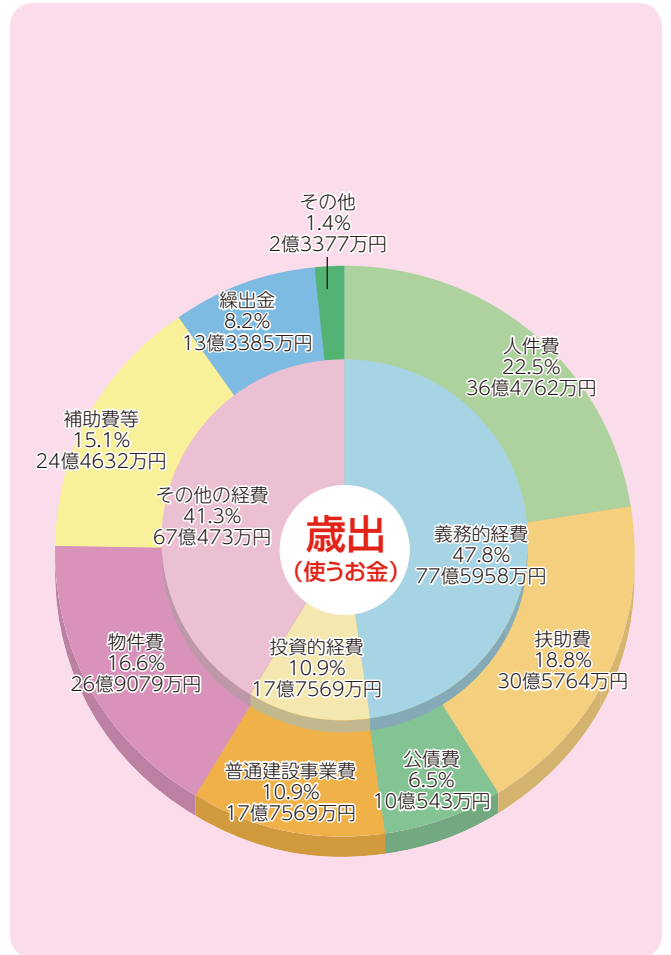
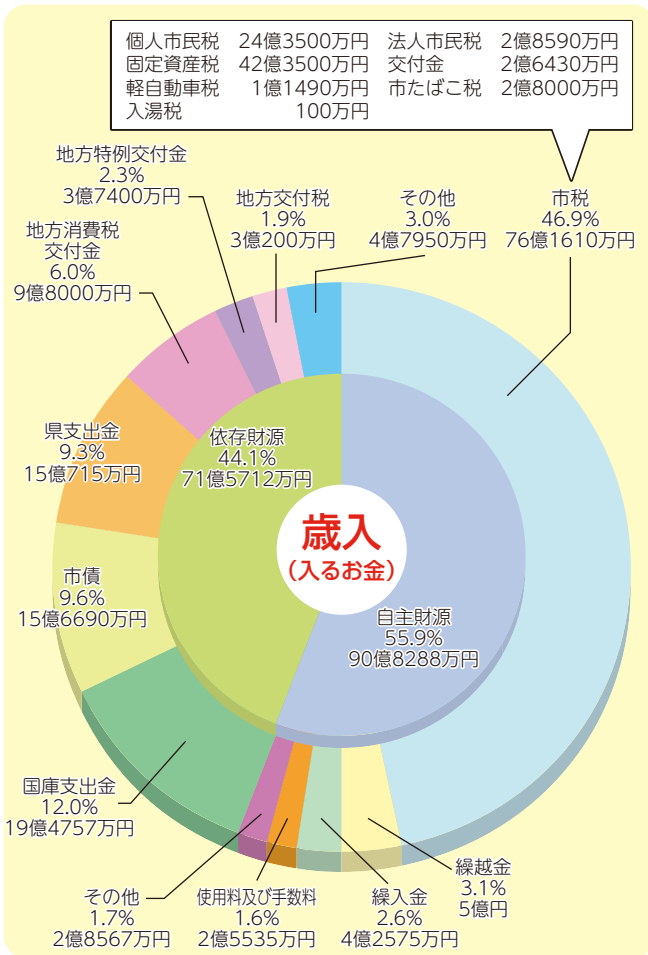
自主財源 90億8288万円  
依存財源 71億5712万円

義務的経費 77億5958万円  
投資的経費 17億7569万円

新年度の自主財源は歳入総額の55.9%を占めている。

市の歳入には、個人市民税・法人市民税・固定資産税・市たばこ税の市税や繰入金などの自主財源(この割合が高いほど財政が安定)と、国・県などから定められた額が交付されたり、割り当てられる収入の依存財源がある。

歳出を性質別経費に応じて分類すると人件費、扶助費、公債費は、その支出が義務づけられ、任意に節減することができない義務的経費(この割合が小さいほど財政にゆとりがある)と、普通建設事業費や災害復旧事業費などの投資的経費がある。



令和3年度の当初予算は一般会計約162億円、特別会計(4会計)で約82億円、企業会計約21億円、総額は約265億円、前年度比約2%の増となった。

歳入においては新型コロナウイルス感染症の影響により市民税、固定資産税が大幅な減収となるが、国からの地方特例交付金などの補填があり、微増が見込まれる。

歳出では老朽化した公共施設の修繕・更新費用など多額の普通建設事業費の負担を計上。

主な事業として、経営体育成支援事業補助事業(鍋田カントリーエレベーター増改築工事等)、市宮火葬場建設事業、歴史民俗資料館移転事業、認定こども園施設整備費補助事業、市民プール解体工事、ハザードマップ作成事業などがある。